



## 令和8年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和8年5月11日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名  
 コード番号 9664 URL <https://www.misonoza.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 敏明  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務経理部部长 (氏名) 大山 桂司 (TEL) (052) - 222 - 8202  
 定時株主総会開催予定日 令和8年6月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 令和8年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和8年3月期の業績 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期	3,217	27.1	238	—	231	—	202	—
7年3月期	2,531	△29.9	△76	—	△83	—	△85	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
8年3月期	40.64	—	4.4	3.9	7.4
7年3月期	△17.18	—	△1.9	△1.4	△3.0

(参考) 持分法投資損益 8年3月期 一百万円 7年3月期 一百万円

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期	5,952	4,707	79.1	945.50
7年3月期	5,785	4,497	77.7	903.29

(参考) 自己資本 8年3月期 4,707百万円 7年3月期 4,497百万円

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
8年3月期	729	△1	△213	1,314
7年3月期	△79	△41	△161	799

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
7年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0	—	0.00
8年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0	—	0.00
9年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 令和9年3月期の業績予想 (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△13.0	80	△66.4	70	△69.7	65	△67.8	13.05

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年3月期	4,984,500株	7年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	8年3月期	5,294株	7年3月期	5,294株
③ 期中平均株式数	8年3月期	4,979,206株	7年3月期	4,979,206株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
(その他) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、継続的な賃上げによる所得環境の改善や、インバウンド需要の定着等により緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で米国の追加関税に伴う通商政策の動向や地政学リスクを背景とした世界経済の減速懸念に加え、中東情勢の悪化も加わり、物価高騰による個人消費への影響は拭えず、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社におきましては、お客様の利便性の向上を念頭に置き安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様からのご意見に基づき劇場運営の改善を進め、お客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、上演してまいりました。

今後も観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和7年4月から令和8年3月において公演を36種類、上演日数として193日間、上演回数として269回（前年同期227回）の実施を致しました。

#### <当事業年度の上演実施作品>

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
市川團十郎特別公演	4月11日～13日	3日	4回
IMPACT	5月1日～25日	25日	34回
吉本新喜劇&バラエティショー	5月30日	1日	1回
ミキ漫2025全国ツアー愛知公演	5月31日	1日	1回
『ダンスオブヴァンパイア』	6月7日～15日	9日	12回
『二都物語』	6月21日～29日	9日	12回
山内恵介コンサートツアー2025	7月5日～6日	2日	3回
シンフォニー朗読劇 『ベートーヴェン～魂の交響曲～』	7月12日～13日	2日	2回
山里亮太の140 愛知公演 ～山里流桶狭間の戦い～	7月18日	1日	1回
夏休み!スペシャル 辻本茂雄還暦特別公演記念ツアー	7月22日～27日	6日	11回
宝塚歌劇 雪組公演 ミュージカル『An American in Paris』	8月14日～9月4日	22日	27回
鶴瓶御園座独演会	9月6日～7日	2日	2回
舟木一夫コンサート2025	9月11日～15日	5日	5回
芸道生活50周年 細川たかし&吉本新喜劇	9月17日～21日	5日	10回
あの夏、君と出会えて～幻の甲子園で見た景色～	9月26日～28日	3日	4回
ミュージカル『Once』	10月4日～5日	2日	3回
第五十一回 吉例顔見世 八代目尾上菊五郎襲名披露 六代目尾上菊之助襲名披露	10月11日～26日	16日	30回
ザ☆ニュースペーパー特別公演	10月31日	1日	1回
兵動大樹のおしゃべり大好き。47	11月2日～3日	2日	2回
バッテリーズとエバース	11月2日	1日	1回
アインシュタインツアー2025 単独シュタインin名古屋	11月3日	1日	1回
舞台「チ。ー地球の運動についてー」	11月8日～9日	2日	3回
純烈 御園座初座長公演	11月14日～24日	11日	15回
『酔いどれ天使』	11月28日～30日	3日	4回
年末恒例大爆笑大会 よしもと爆笑公演 1週目	12月3日～7日	5日	11回
年末恒例大爆笑大会 よしもと爆笑公演 2週目	12月9日～14日	6日	11回
加藤登紀子ほろ酔いコンサート2025	12月20日	1日	1回
ミュージカル『SPY×FAMILY』	12月26日～30日	5日	7回
創立百三十周年記念 御園座新春特別公演 藤あや子・市川由紀乃	1月10日～17日	8日	8回
ミュージカル『十二国記一月の影 影の海ー』	1月28日～2月1日	5日	7回

大竹しのぶ主演 上演15周年記念公演『ピアフ』	2月6日～2月8日	3日	3回
『ピグマリオン-PYGMALION-』	2月13日～2月15日	3日	4回
ミュージカル『ISSA in Paris』	2月21日～2月25日	5日	5回
天童よしみコンサート	2月27日	1日	1回
氷川きよし特別公演	3月6日～18日	13日	17回
阪急阪神不動産presents エリザベート TAKARAZUKA30th スペシャル・ガラ・コンサート	3月23日～25日	3日	5回
合計		193日	269回

(上演日数には休演日も含みます)

〈公演中止となった当事業年度の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
該当なし		—	—
合計		—	—

この結果、当事業年度の売上高は、32億1千7百万円（前年同期は25億3千1百万円）となりました。売上高は6億8千6百万円増加し、利益面におきまして、営業利益2億3千8百万円（前年同期は営業損失7千6百万円）、経常利益2億3千1百万円（前年同期は経常損失8千3百万円）、当期純利益2億2百万円（前年同期は当期純損失8千5百万円）となりました。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の部)

当事業年度末における流動資産の残高は、14億3千1百万円となり、前事業年度末に比べ3億9千8百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が5億1千4百万円増加した一方で、売掛金が6千7百万円、未収還付法人税等が2千1百万円、未収消費税等が2千8百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、45億2千万円となり、前事業年度末に比べ2億3千1百万円の減少となりました。この主な要因は、建物が1億2千1百万円、機械及び装置が9千万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、59億5千2百万円となり、前事業年度末に比べ1億6千6百万円の増加となりました。

### (負債の部)

当事業年度末における流動負債の残高は、7億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ1億7千5百万円の増加となりました。この主な要因は、買掛金が1億5百万円、未払法人税等が4千2百万円、未払消費税等が4千4百万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、5億1千1百万円となり、前事業年度末に比べ2億1千9百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が2億9百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、12億4千4百万円となり、前事業年度末に比べ4千3百万円の減少となりました。

### (純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、47億7百万円となり、前事業年度末に比べ2億1千万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が2億2百万円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ5億1千4百万円増加し、13億1千4百万円となりました。

#### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億2千9百万円の収入(前期は7千9百万円の支出)となりました。これは主に、減価償却費2億3千9百万円、税引前当期純利益2億3千1百万円、仕入債務の増加1億5百万円、未払消費税等の増加又は未収消費税の等の減少7千2百万円によるものであります。

#### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の支出(前期は4千1百万円の支出)となりました。

#### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億1千3百万円の支出(前期は1億6千1百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億9百万円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

原材料価格や賃金の上昇により、外注委託費、材料費、制作費等の売上原価が上昇するという前提で令和9年3月期業績見通しを集計しております。当劇場においては、公演の採算を鑑みながらコンテンツをより充実させた内容の公演を行ってまいる予定です。

そうした前提のもと、令和9年3月期の当社主催の公演は、以下の通り予定しております。

歌舞伎公演につきましては、4月に新作歌舞伎「流白浪燦星」を行い、10月に坂東玉三郎主演による「御園座錦秋歌舞伎」を予定しております。

6月には宝塚歌劇団星組による「花より男子II」その他舞台演劇、歌謡ショー、お笑いなど多種多様な公演を、公演種類として約30種類、公演回数として約260回提供してまいる予定です。この中には、公演期間が10～25日間程度の期間に渡るものもあれば、1日間、2日間の短期公演もあり、さまざまなジャンルのファンの方に、何度も足をお運びいただけるような魅力ある公演を提供してまいります。

その結果、令和9年3月期の業績は、売上高28億円（前年度比△13.0%）、営業利益8千万円（前年度営業利益2億3千8百万円）、経常利益7千万円（前年度経常利益2億3千1百万円）、当期純利益6千5百万円（前年度純利益2億2百万円）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当事業年度 (令和8年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	829,636	1,344,612
売掛金	136,957	69,213
貯蔵品	877	1,006
前渡金	717	4,700
前払費用	15,293	13,577
未収還付法人税等	21,215	-
未収消費税等	28,171	-
その他	187	266
貸倒引当金	-	△2,149
流動資産合計	1,033,056	1,431,227
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,965,754	2,965,754
減価償却累計額	△869,254	△990,485
建物（純額）	2,096,499	1,975,268
構築物	13,927	13,927
減価償却累計額	△6,765	△7,698
構築物（純額）	7,162	6,229
機械及び装置	999,881	999,881
減価償却累計額	△642,840	△733,829
機械及び装置（純額）	357,041	266,052
工具、器具及び備品	258,032	258,032
減価償却累計額	△179,269	△202,777
工具、器具及び備品（純額）	78,762	55,254
土地	2,123,768	2,123,768
リース資産	16,507	16,507
減価償却累計額	△8,660	△10,342
リース資産（純額）	7,847	6,165
有形固定資産合計	4,671,082	4,432,740
無形固定資産		
電話加入権	72	72
リース資産	6,012	4,723
無形固定資産合計	6,084	4,796
投資その他の資産		
投資有価証券	65,268	76,680
長期前払費用	4,654	832
保険積立金	4,415	4,925
その他	1,659	1,659
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	75,259	83,358
固定資産合計	4,752,427	4,520,895
資産合計	5,785,483	5,952,122

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当事業年度 (令和8年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	168,478	274,317
1年内返済予定の長期借入金	210,000	209,996
リース債務	3,266	3,266
未払金	32,314	29,773
未払法人税等	11,644	54,148
未払消費税等	-	44,343
前受金	121,242	106,328
預り金	3,932	4,637
賞与引当金	2,000	2,000
その他	4,274	4,271
流動負債合計	557,154	733,083
固定負債		
長期借入金	437,501	227,509
リース債務	11,978	8,711
繰延税金負債	272,508	265,843
退職給付引当金	7,689	8,134
その他	1,000	1,000
固定負債合計	730,677	511,198
負債合計	1,287,831	1,244,281
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金		
資本準備金	2,137,599	2,137,599
その他資本剰余金	22	22
資本剰余金合計	2,137,621	2,137,621
利益剰余金		
利益準備金	112,500	112,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	619,763	619,763
別途積立金	350,000	350,000
繰越利益剰余金	△987,728	△785,356
利益剰余金合計	94,534	296,906
自己株式	△39,994	△39,994
株主資本合計	4,464,099	4,666,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,553	41,369
評価・換算差額等合計	33,553	41,369
純資産合計	4,497,652	4,707,840
負債純資産合計	5,785,483	5,952,122

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当事業年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
売上高	2,531,034	3,217,352
売上原価	1,996,991	2,371,598
売上総利益	534,042	845,754
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,830	22,200
給料及び手当	28,814	22,156
退職給付費用	437	445
賞与引当金繰入額	1,940	2,220
ビル管理費	65,125	64,533
減価償却費	236,669	239,630
租税公課	37,973	63,191
広告宣伝費	8,905	15,725
支払手数料	58,849	46,110
その他	152,195	131,383
販売費及び一般管理費合計	610,739	607,593
営業利益又は営業損失(△)	△76,697	238,160
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,404	3,337
その他	2,598	1,898
営業外収益合計	5,003	5,236
営業外費用		
支払利息	10,565	10,422
その他	1,020	1,013
営業外費用合計	11,585	11,436
経常利益又は経常損失(△)	△83,279	231,960
特別利益		
固定資産売却益	3,247	—
特別利益合計	3,247	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△80,032	231,960
法人税、住民税及び事業税	1,402	39,848
法人税等調整額	4,130	△10,260
法人税等合計	5,532	29,588
当期純利益又は当期純損失(△)	△85,564	202,371

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						固定資産圧縮積立金	別途積立金
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
税率変更による積立金の調整額	-	-	-	-	-	△8,142	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△8,142	-
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	619,763	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△910,306	180,099	△39,994	4,549,663	26,242	26,242	4,575,906
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)	△85,564	△85,564		△85,564			△85,564
自己株式の取得							-
税率変更による積立金の調整額	8,142	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					7,310	7,310	7,310
当期変動額合計	△77,421	△85,564	-	△85,564	7,310	7,310	△78,254
当期末残高	△987,728	94,534	△39,994	4,464,099	33,553	33,553	4,497,652

当事業年度(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	619,763	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
税率変更による積立金の調整額	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	619,763	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△987,728	94,534	△39,994	4,464,099	33,553	33,553	4,497,652
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)	202,371	202,371		202,371			202,371
自己株式の取得							
税率変更による積立金の調整額	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					7,816	7,816	7,816
当期変動額合計	202,371	202,371	-	202,371	7,816	7,816	210,188
当期末残高	△785,356	296,906	△39,994	4,666,470	41,369	41,369	4,707,840

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当事業年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△80,032	231,960
減価償却費	236,669	239,630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	2,149
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△199	445
受取利息及び受取配当金	△2,404	△3,337
支払利息	10,565	10,422
固定資産売却益	△3,247	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,708	67,743
棚卸資産の増減額 (△は増加)	401	△128
未収入金の増減額 (△は増加)	△16	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,556	105,839
前受金の増減額 (△は減少)	△47,631	△14,913
預り金の増減額 (△は減少)	△1,789	704
未払金の増減額 (△は減少)	335	△2,040
未払又は未収消費税等の増減額	△72,624	72,515
その他	△443	7,061
小計	△11,568	718,051
利息及び配当金の受取額	2,404	3,337
利息の支払額	△10,614	△10,426
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△59,887	18,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	△79,665	729,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	—
有形固定資産の売却による収入	4,377	—
有形固定資産の取得による支出	△44,924	—
その他	△1,009	△1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,556	△1,009
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△202,499	△209,996
リース債務の返済による支出	△8,516	△3,266
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,015	△213,262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282,237	514,976
現金及び現金同等物の期首残高	1,081,874	799,636
現金及び現金同等物の期末残高	799,636	1,314,612

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当事業年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
1株当たり純資産額	903円29銭	945円50銭
1株当たり当期純利益又は 当期純損失(△)	△17円18銭	40円64銭

(注) 前事業年度は、潜在株式が存在せず、また、1株当たり当期純損失であるため潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。当事業年度は、潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当事業年度 (令和8年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,497,652	4,707,840
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,497,652	4,707,840
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	4,979	4,979

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当事業年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△85,564	202,371
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△85,564	202,371
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,979	4,979

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他)

(1) 役員の変動

① 役員の変動 (令和8年6月23日付)

(ア) 取締役退任予定者

取締役 長谷川 栄胤 (現 取締役)

(イ) 退任の理由

任期満了に伴う退任